

令和7年度 第2回静岡市国民健康保険運営協議会 次第

日時：令和7年11月12日（水）

午後7時00分～午後8時00分

場所：静岡市役所静岡庁舎本館3階

第1委員会室

1 開 会

2 議 事

- （1）静岡市国保の収納状況及び収納対策について …資料1
- （2）静岡市国保の保健事業について …資料2
- （3）静岡市国保の後発医薬品の使用促進について …資料3

3 閉 会

※次回会議

日時：令和7年12月22日（月）19時～

場所：静岡市役所静岡庁舎本館3階 第1委員会室

市ホームページで委員名簿や議事録を公開いたします。
御承知おきください。

資料1
令和7年度 第2回 静岡市国民健康保険運営協議会

静岡市国保の収納状況及び 収納対策について

令和7年11月12日（水）

福祉債権収納対策課

【目次】

I 収納状況

1	令和 6 年度決算状況	…	1
2	収納率等の推移	…	1
3	収納率の目標	…	1

II 収納対策

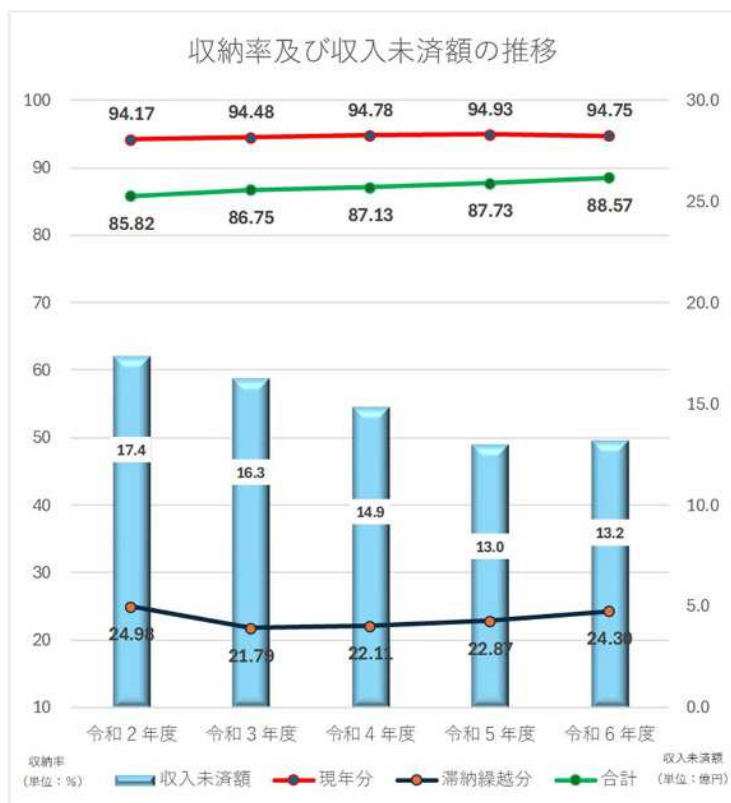
1	令和 6 年度納付方法別収納状況	…	2
2	滞納の抑制の方策	…	3
3	滞納整理の方策	…	4

I 収納状況

1 令和6年度決算状況

	現在調定額(円) (A)	納付額(円) (B)	過誤納額(円) (C)	純収入額(円) (B-C=D)	不納欠損額(円) (E)	収納率(%) (D/A)	収入未済額(円) (A-D-E)
現年分	13,229,036,400	12,740,067,326	205,049,115	12,535,018,211	282,000	94.75	693,736,189
滞納繰越	1,272,843,479	320,312,066	10,994,668	309,317,398	340,485,935	24.30	623,040,146
合 計	14,501,879,879	13,060,379,392	216,043,783	12,844,335,609	340,767,935	88.57	1,316,776,335

2 収納率等の推移



3 収納率の目標

区 分		現年分	滞納繰越分	合 計
令和5年度	収納率 (目標)	94.93 (94.88)	22.87 (22.71)	87.73 (87.64)
令和6年度	収納率 (目標)	94.75 (95.34)	24.30 (23.97)	88.57 (88.48)
令和7年度	収納率 (目標)	(95.44)	(24.48)	(89.24)
令和8年度	収納率 (目標)	(95.54)	(24.98)	(89.76)

※収納率：％

令和6年度決算による

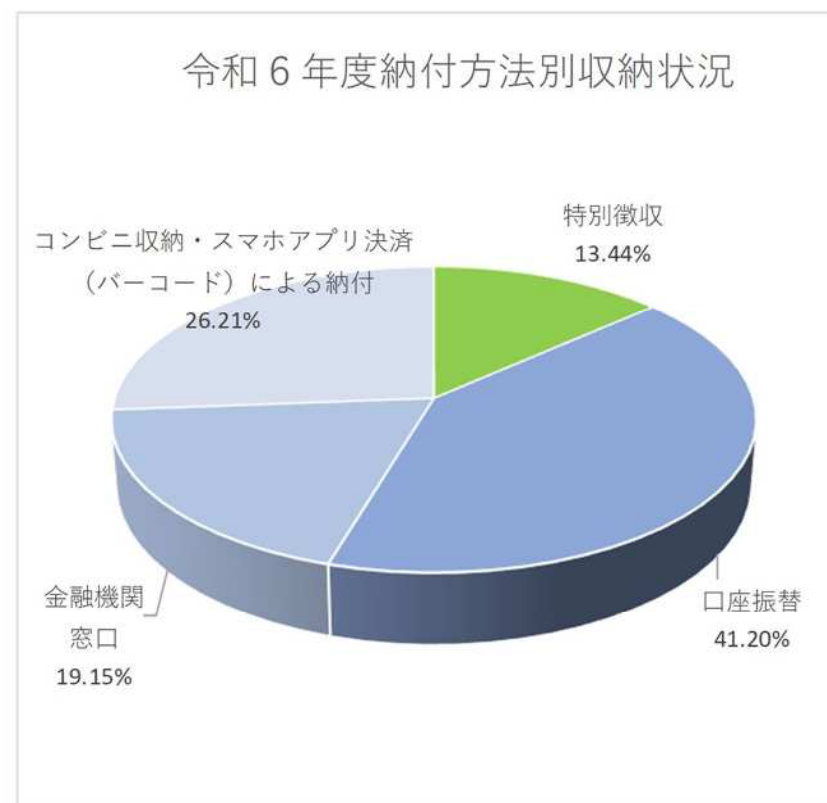
※収納率の目標は、「第4次静岡市行財政改革前期実施計画」で設定しています。これは、行政運営の効率化や財政の健全化を目指す令和5年度から12年度までの8年間の計画です。

Ⅱ 収納対策

1 令和6年度納付方法別収納状況

納付方法	納付件数	割合	(参考) 前年度
特別徴収(年金からの引き去り)	101,492	13.44%	14.15%
普通徴収	口座振替	311,100	41.20%
	金融機関窓口	144,589	19.84%
	コンビニ収納・スマホアプリ決済 (バーコード)による納付	197,952	26.21%
合計納付件数	755,133		775,295

令和7年3月31日時点での数値



2 滞納の抑制の方策

(1) 口座振替の推進

H28	静岡市国民健康保険条例施行規則改正 (普通徴収の納付方法を口座振替に原則化)
H29	ペイジー口座振替申込開始 (国保窓口でのキャッシュカードによる申込が可能に)
R06	WEB口座振替申込受付サービス導入 (PC/スマホで口座振替の申し込みが可能に)

(2) 納付機会の拡大

H25	バーコード決済導入 コンビニ(セブンイレブン、ファミリーマート、ローソン等)での収納開始
H26	モバイルレジアプリによるインターネットバンキング開始
R01	モバイルレジアプリによるクレジットカード決済開始
R02	電子マネー決済開始(LINE Pay、PayPay)
R03	督促状、ハガキ催告書へのバーコード印刷(コンビニ納付可能へ)
R03	電子マネー決済拡充(au PAY、J-coin Pay、d払い)
R05	電子マネー決済拡充(FamiPay、楽天ペイ)

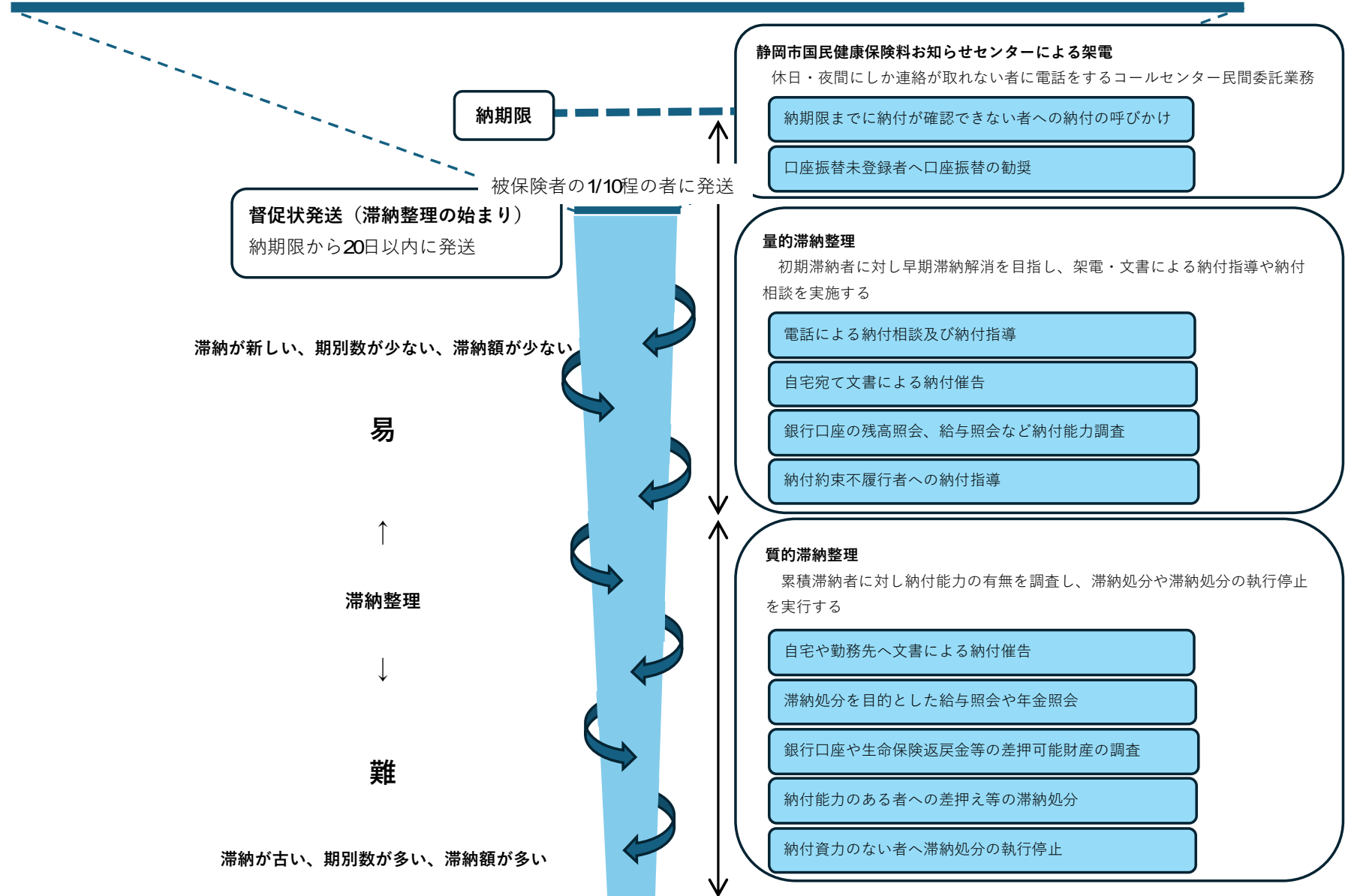
※令和7年10月時点の利用可能な電子マネー

(PayPay、d払い、au PAY、J-coin Pay、FamiPay、楽天ペイ)

		R 0 4	R 0 5	R 0 6
普 通 徴 収	特別徴収	119,575	109,700	101,492
		14.80%	14.15%	13.44%
		1,730,329	1,621,682	1,570,133
		12.83%	12.45%	12.06%
	口座振替	342,048	325,769	311,100
		42.34%	42.02%	41.20%
		6,556,160	6,294,542	6,175,433
		48.62%	48.32%	47.43%
	金融機関窓口	170,924	153,824	144,589
		21.16%	19.84%	19.15%
		2,763,039	2,547,126	2,466,780
		20.49%	19.55%	18.94%
	コンビニ収納	156,889	163,092	168,705
		19.42%	21.04%	22.34%
		2,142,326	2,182,382	2,323,231
		15.89%	16.75%	17.84%
	スマホアプリ 決済	18,519	22,910	29,247
		2.29%	2.96%	3.87%
		292,126	380,089	485,890
		2.17%	2.92%	3.73%
合 計	件数	807,955	775,295	755,133
	金額(千円)	13,483,979	13,025,821	13,021,466

3 滞納整理の方策

国保被保険者



資料2
令和7年度 第2回 静岡市国民健康保険運営協議会

静岡市国保の保健事業について

令和7年11月12日（水）

静岡市健康づくり推進課

【目次】

○第3期保健事業実施計画（データヘルス計画） 第4期特定健康診査等実施計画の進捗について 1
○特定健康診査の実施状況 2
（1）静岡市の特定健康診査受診率と目標値	
（2）受診率向上のための施策	
○特定保健指導の実施状況 4
（1）静岡市の特定保健指導実施率	
（2）特定保健指導実施者のメタボ改善率	
（3）実施率向上のための施策	
○静岡市デジタルデバイスを活用した保健指導 サービス導入事業 5

第3期保健事業実施計画（データヘルス計画） 第4期特定健康診査等実施計画の進捗について

静岡市国保の保健事業は、

- ・ 第3期 保健事業実施計画（データヘルス計画）
- ・ 第4期 特定健康診査等実施計画

を基に事業を実施



●第3期 保健事業実施計画（データヘルス計画）実施状況 ※R7.10.20時点

	達成すべき目的	課題を解決するための目標	基準年 (令和4年度)	令和6年度			目標値 (令和11年度)
				目標値	実績値	達成	
アウトカム指標	生活習慣病の発症 予防・重症化予防	メタボリックシンドロームの該当者の割合の減少	21.1%	20.5%	20.8%		17.5%
		高血糖者（HbA1c6.5以上の者）の割合の減少	9.1%	9.0%	9.2%		8.5%
		高血糖者（HbA1c6.5以上の者）のうち、糖尿病の レセプトがない者の割合の減少	12.5%	12.1%	12.4%		10.1%
		健診受診者のHbA1c8.0%以上の者の割合の減少	1.3%	1.0%	1.3%		1.0%
		健診受診者の高血圧予備群（※1）の割合の減少	12.0%	11.8%	11.5%	○	10.5%
		健診受診者の高血圧症の該当者の割合の減少 （高血圧1度以上）※2	53.8%	53.3%	53.7%		50.8%
		平均自立期間の延伸 ※3	男性 80.1歳 女性 84.3歳	男性 80.5歳 女性 84.6歳	男性 79.7歳 女性 83.9歳		男性 81.3歳 女性 85.4歳
アウトプット	特定健診受診率、 特定保健指導実施 率を向上し、メタ ボ該当者、重症化 予防対象者を減少	特定健康診査受診率の向上	33.0%	34.2%	34.2%	○	40.7%
		特定保健指導実施率の向上	23.9%	27.5%	26.9%		35.1%
		特定保健指導による特定保健指導対象者の減少率	21.3%	21.8%	23.7%	○	24.3%

※1 高血圧予備群とは、健診受診者の血圧結果のあるもののうち①収縮期血圧が130mmHg以上140mmHg未満、かつ拡張期血圧が90mmHg未満であるもの、②収縮期血圧が140mmHg未満かつ拡張期血圧が85mmHg以上90mmHg未満である者、ただし①②とも血圧を下げる薬服薬者をのぞく。

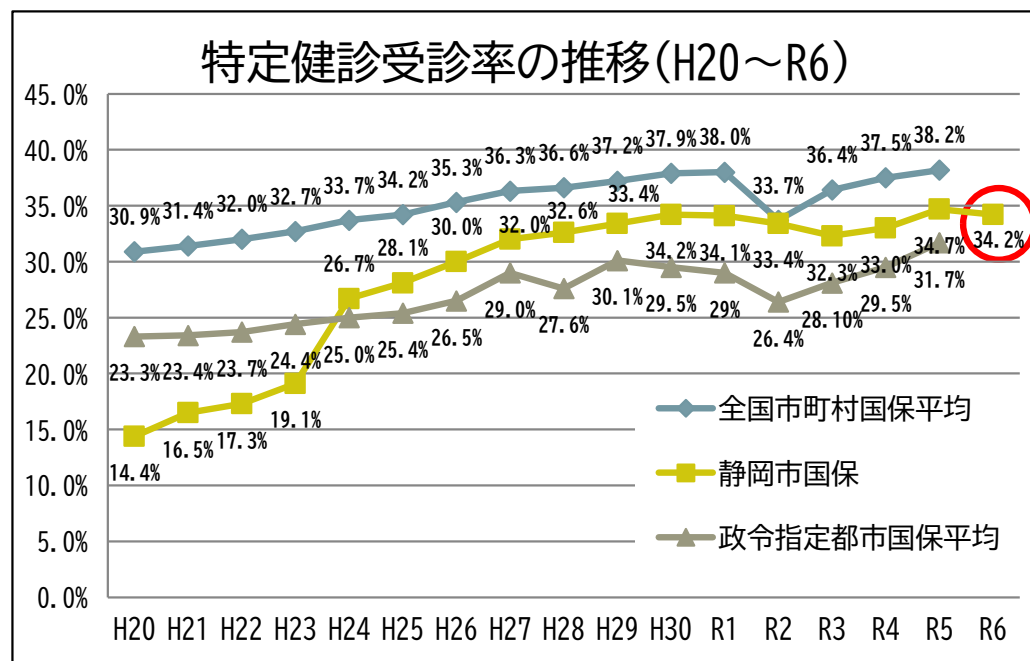
※2 高血圧1度以上とは、収縮期血圧が140mmHg以上、または拡張期血圧が90mmHg以上の者もしくは血圧を下げる薬服薬者

※3 平均自立期間とは、日常生活に介護を要しない期間の平均を指します。

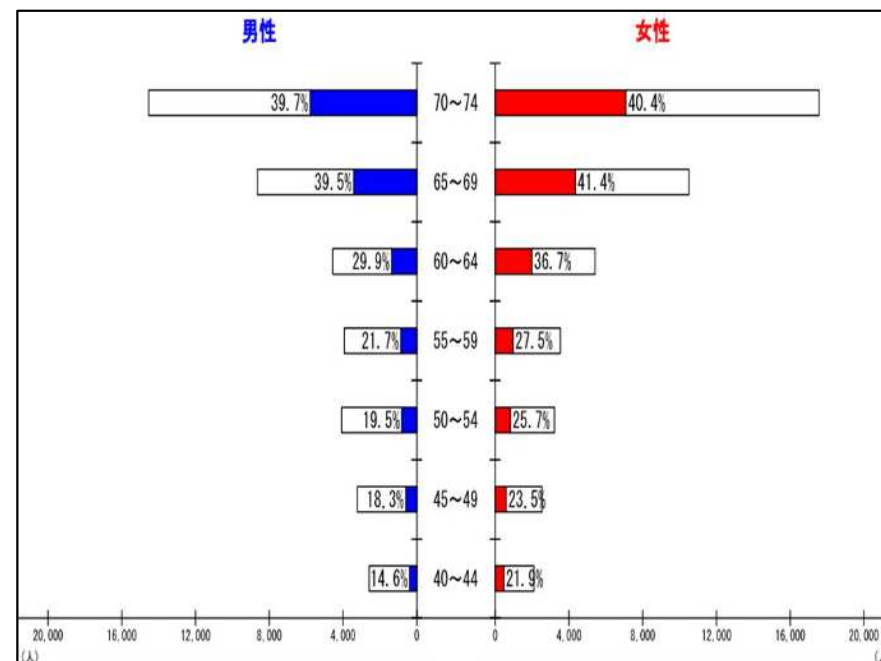
特定健康診査の実施状況

(1) 静岡市の特定健康診査受診率と目標値

○令和6年度の受診率は、目標値34.2 %で、昨年度より減少したが、目標の34.2%には到達した。



○年代別の受診率では、40歳代・50歳代の受診率が低い傾向にある。



○データヘルス計画では、最終年度の令和11年度に特定健康診査の受診率40.7%を目指していることから、受診率向上に向けて各施策を実施している。

【受診率の目標値】

	ベース ライン値 (R3)	R6	R7	R8	R9	R10	R11
特定健康診査受診率	32.3%	34.2%	35.5%	36.8%	38.1%	39.4%	40.7%

特定健康診査の受診率向上施策

(2) 受診率向上のための施策

主な取組① 受診券送付時の封筒記載内容の工夫

○令和7年度は、受診券発送時の封筒に
「10,000円相当の検診が無料で受診できる」
こと、健診受診までの手順を「3ステップ」
と明記した。

【受診券封筒】

表面→

生活習慣病の予防のための
健康診断が
無料で受診できます
(10,000円相当)

年に1度の
チャンス

裏面→

3ステップで簡単受診!

①予約する ②受診する ③結果の返却

主な取組③ 未受診者への受診勧奨通知の発送

○令和6年度は、①40歳の未受診者②41～74歳の「R5
及びR6健診未受診」かつ「R6生活習慣病のレセプト
なし」に対し、タイプ別の受診勧奨通知を12月に発送。
○対象者の受診率は芳しくないが、健診に関心の薄い層
に必要性を伝えるため、令和7年度も同様の対象者に
実施予定。

主な取組② 若い世代が集まるイベントでのチラシ配布

○令和7年度、新たに
特定健康診査のチラシ
を作成し、若い世代の
来場が見込まれる市内
イベントで配布した。

「元気だから必要ない？」な
ど疑問に答える形式にして
健診の必要性を訴える

各区のキャラクターを使用す
ることで親しみやすく

QRコードを記載し、スマート
フォンからも見られるように

特定健診・後期高齢者健診(生活習慣病健診)のご案内

対 象 者：静岡市国民健康保険or後期高齢者医療保険加入者
受 診 期 間：令和8年3月31日まで
自己負担金：無料

受診方法

- ①予約する 成人健診まるわかりガイドの「実施医療機関一覧」
から医療機関を選び、直接予約する
- ②受診する 【受診期間】令和8年3月31日まで ※年度末は予約が取れない場合がありますので、お早め!!!
【持ち物】受診券 □質問票 □マイナ保険証 ※または 所得課証書等
- ③結果の返却 医療機関から郵送または手渡しで結果が通知されます。
※結果の返却方法は医療機関によって異なるため、医療機関にご確認ください。

Q&A

Q1. いくらかかるの? A1. 無料です (一部診療5,000円相当)

Q2. 元気だから受ける必要ない? A2. 早期のうちには自覚症状がありません。早期発見・早期治療が重要です。

Q3. 通院中だから受けなくてもいい? A3. 健康診査は、病院で行う治療のための検査とは目的が異なりますので、主治医に相談してください。

清水区 広報キャラクター「シズタ」

健診項目

診 察：問診、診察、身体計測(身長、体重、BMI、腹囲)、血圧測定
尿 検 査：尿糖・尿蛋白 血液検査：脂質、血糖、肝機能、腎機能
医師の判断により実施する検査：貧血検査、心電図、眼底検査
※特定健診対象者(40歳から74歳の国民健康保険加入者)は医師の判断により、全員に貧血検査、希望者に心電図を実施します。

静岡市の補助で受診できる「がん検診」や「歯周病検診」の制度があります。
がん検診に関することはこちら 歯周病検診に関することはこちら

健康づくり推進課 健診係 健康づくり推進課 口腔保健支援センター
054-221-1579 054-249-3175

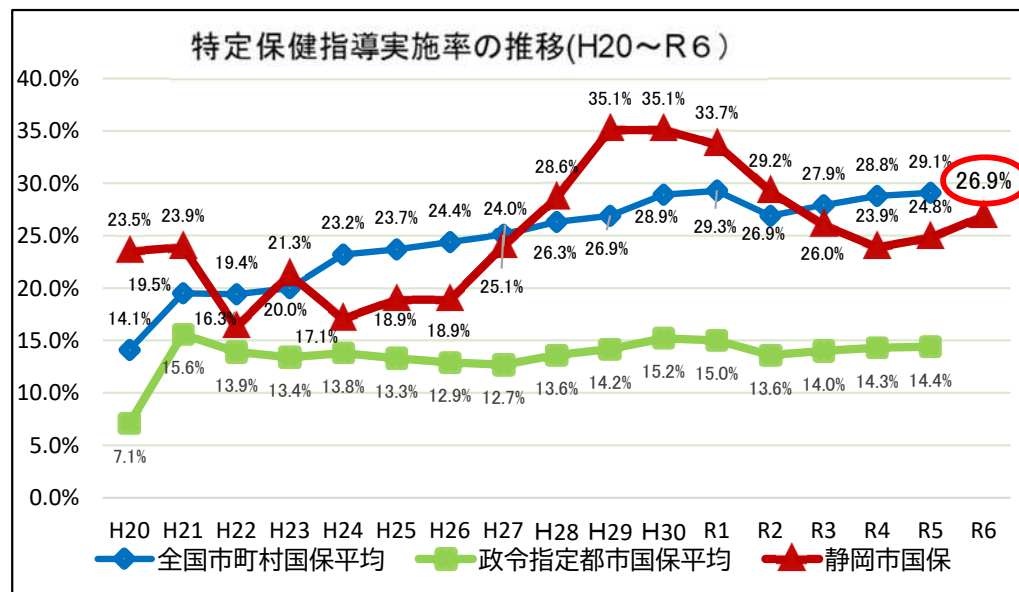
【受診勧奨実施状況(R6)】

	発送件数	受診者数	受診率
① 40歳の未受診者	622人	11人	1.77%
② 41～74歳のR5及びR6健診未受診かつR6生活習慣病レセプトなし	45,982人	635人	1.38%
合計	46,604人	646人	1.39%

特定保健指導の実施状況

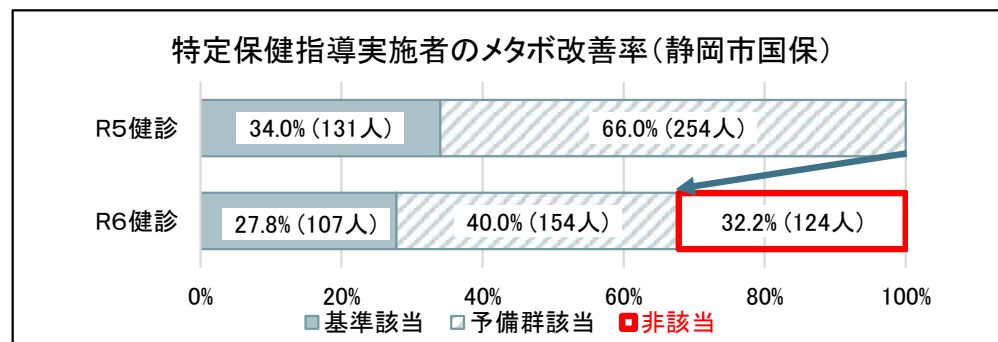
(1) 静岡市の特定保健指導実施率

○令和6年度の特定保健指導実施率は、目標値27.5%に対し、26.9%(目標値▲0.6%)であった。



(2) 特定保健指導の実施者のメタボ改善率

○令和5年度特定保健指導利用者の内、32.2%が令和6年度の特定健診でメタボリックシンドローム非該当となった。



(3) 実施率向上のための施策

○令和6年度から、平日日中に加えて夜間や土日祝日に実施可能な薬局への委託を開始(令和7年度実施場所:市内全11か所)

○直営及び委託医療機関の未利用者へ案内を実施

○年度途中の実施であり、令和6年度の利用者は4名に留まった。令和7年度は334人へ利用勧奨し、現在の利用者は14名。

【利用の流れ】

- ①直営・委託医療機関での未利用者へ案内及びチラシを送付
- ②委託医療機関での特定保健指導未利用者に対して、実施薬局が自宅から近い方へ電話による利用勧奨を実施

管理栄養士による特定保健指導が受けられます!

● 年中無休、土日祝日や仕事帰りの遅い時間帯も利用できる
● 買い物ついでに気軽に指導が受けられる
● 管理栄養士との個別面談で食事・運動の相談がじっくりできる
● いつでも健康相談や関連商品の相談ができる

「特定保健指導の対象者」であれば指導は無料♪

特定保健指導をご希望の方
ご希望の方は、12月15日までに下記からお申し込みください

お申し込みは、こちらの申込みフォームから可能です!

静岡市申込みフォーム

こちらの二次元コードから、予約申し込みページへ進みます。
https://kspforms.jp/form/792/80152

静岡市デジタルデバイスを活用した保健指導サービス導入事業

現 状

- ▼本市の糖尿病有病率は、指定都市6位と高い状況である。
疾病別医療費1位が慢性腎臓病(透析あり)、2位が糖尿病であり、優先すべき健康課題である。

課 題

- ▼生活習慣病等の有病者減少に向けた取組が不十分であり、行動変容を促す効果的な介入ができていない。
- ▼市が実施する保健指導は、高齢者も多く対面での指導を重視し、デジタル技術の活用を進めていなかった。

デジタルデバイスを活用した保健指導サービス導入事業 (R7～R9)

- デジタルデバイスを活用し、データを通じて健康状態を把握・データに基づく保健指導により、生活習慣の見直しを促進することで、糖尿病の発症を予防する。
- 効果検証は、大学との共同研究により行い、糖尿病発症予防のエビデンスを得て今後の施策に活かす。

対象者	市国保被保険者のうち、以下の全てに該当する者のうち希望者70人 ・BMI24以上の40～61歳 ・特定健診受診者 ・高血圧症、脂質異常症、糖尿病の3疾患の服薬治療をしていない者 (R7:対象者2,274人に案内送付、50人から申込あり)
サービスの選定	①生活習慣病の発症予防に資する、②デジタルデバイスで得たデータを基にした、③保健指導のあるサービスで、④利用者の主体的な参加を必要としないもの →R7はプロポでスマートバスマットを選定
サービス提供期間	3か月間 ※アンケートと健診結果を1年後と3年後に追跡調査し、分析する。
事業目標	利用者の体重減少(平均2kg以上)

資料3
令和7年度 第2回 静岡市国民健康保険運営協議会

静岡市国保の後発医薬品の 使用促進について

令和7年11月12日（水）

静岡市保険年金管理課

【目次】

○国の方針	1
○後発医薬品使用促進のメリット	2
○本市の後発医薬品促進の取組	3
○後発医薬品差額通知発送の効果	4
○静岡市国保の後発医薬品の使用割合の推移	5
(参考1)政令指定都市の後発医薬品の使用割合	6
(参考2)後発医薬品の使用割合の他保険者 平均との比較	7

国の方針

「経済財政運営と改革の基本方針2021」(令和3年)

● 後発医薬品の使用割合に関する目標値

後発医薬品の品質及び安定供給の信頼性の確保を柱とし、官民一体で、製造管理体制強化や製造所への監督の厳格化、市場流通品の品質確保検査などの取組を進めるとともに、後発医薬品の数量シェアを、2023年度(令和5年度)末までに全ての都道府県で80%以上とする。



最新情報 令和6年9月診療分
全国平均 84.2%
(厚生労働省令HP公表)

・本市は目標達成済(資料 別掲)

・一部都道府県で目標未達成

今後の新目標【R6～R11年度】:R6.3.14 社会保障審議会

● 主目標:後発医薬品の数量シェアを全ての都道府県で80%以上とする。(継続)

➡ R6. 10月より、先発医薬品を希望する患者の自己負担額の特別加算開始

● 副次目標:バイオシミラー(バイオ後続品)が80%以上を占める成分数が全体の成分数の60%以上

● 副次目標:後発医薬品の金額シェアを65%以上(静岡市R7.4月調剤分:80.2%)



高価格帯の先発医薬品やバイオ医薬品について、後発品への切り替えを重点的に進め、薬剤費のよりいっそうの低減を図る。

有効性は先発医薬品と同一でありながら

(1) 薬剤費の自己負担額の軽減

(2) 医療費の削減

(保険料の引き上げ抑制に寄与)

が図られる。

【参考】 被保険者数と医療費の推移(静岡市)

(単位:円)

	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
平均被保険者数	135,325 人	127,712 人	122,294
医療費総額	53,856,120,273	52,793,822,272	51,203,335,846
1 人あたりの医療費	397,976	413,382	418,690

(出所) 国民健康保険事業状況報告書(事業年報)

本市の後発医薬品促進の取組

●後発医薬品差額通知の発送

① 目的

後発医薬品差額通知を送付することで、国保加入者に後発医薬品という選択肢があることを通知し、後発医薬品の使用割合の向上を図る。

② 発送条件

次の①、②の条件を満たす場合に後発医薬品差額通知を発送

- ① 後発医薬品への切り替え効果が1薬剤あたり200円以上
- ② 院外処方である。

③ 発送時期・部数

- ① 令和6年度 発送部数：1,896通（7月、1月）
- ② 令和7年度 7月発送分：650通
2回目は、R8. 1月に発送予定

●後発医薬品に係る啓発

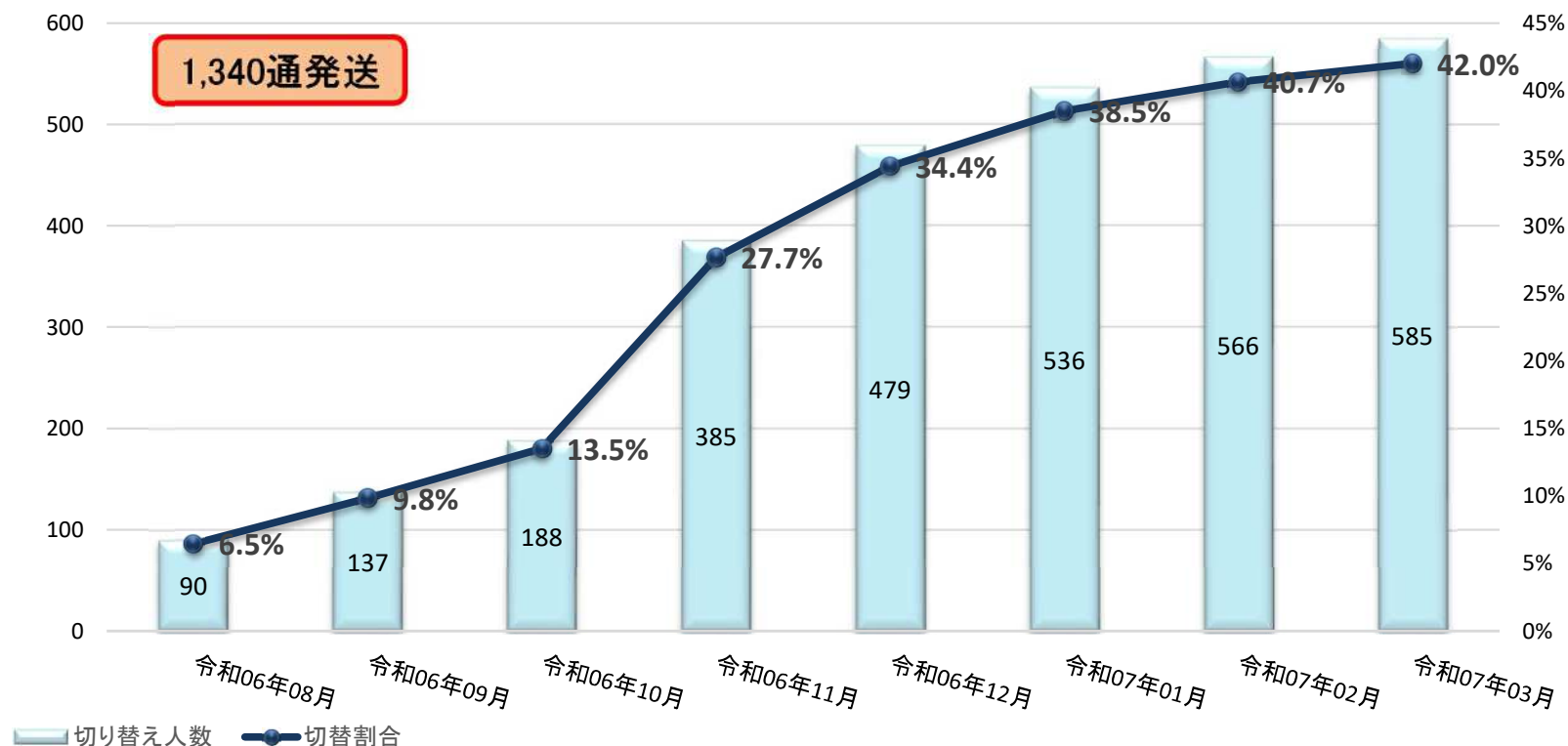
・令和5年10月からジェネリック医薬品に関する情報をホームページに掲載

後発医薬品差額通知発送の効果

(切替人数)

令和6年7月発送分医療費通知の調剤年月別切替人数(人)、切替割合(%)

(切替割合)



調剤年月別効果額※代替可能医薬品を後発医薬品に切り替えたことにより削減できた医療費									(円)
	調剤年月								合 計
	令和6年8月	令和6年9月	令和6年10月	令和6年11月	令和6年12月	令和7年1月	令和7年2月	令和7年3月	
保険者負担額	126,786	165,066	191,341	527,124	417,581	529,748	510,680	441,441	2,909,767
自己負担額	50,153	61,692	70,137	193,267	149,451	191,701	189,312	156,529	1,062,242
計	176,939	226,758	261,478	720,391	567,032	721,449	699,992	597,970	3,972,009

静岡市国保の後発医薬品の使用割合の推移

令和7年4月調剤分 89.9%を達成

静岡市国保の後発医薬品の使用割合の推移

※ 使用割合＝後発医薬品の数量 ÷ (代替可能先発医薬品の数量＋後発医薬品の数量)



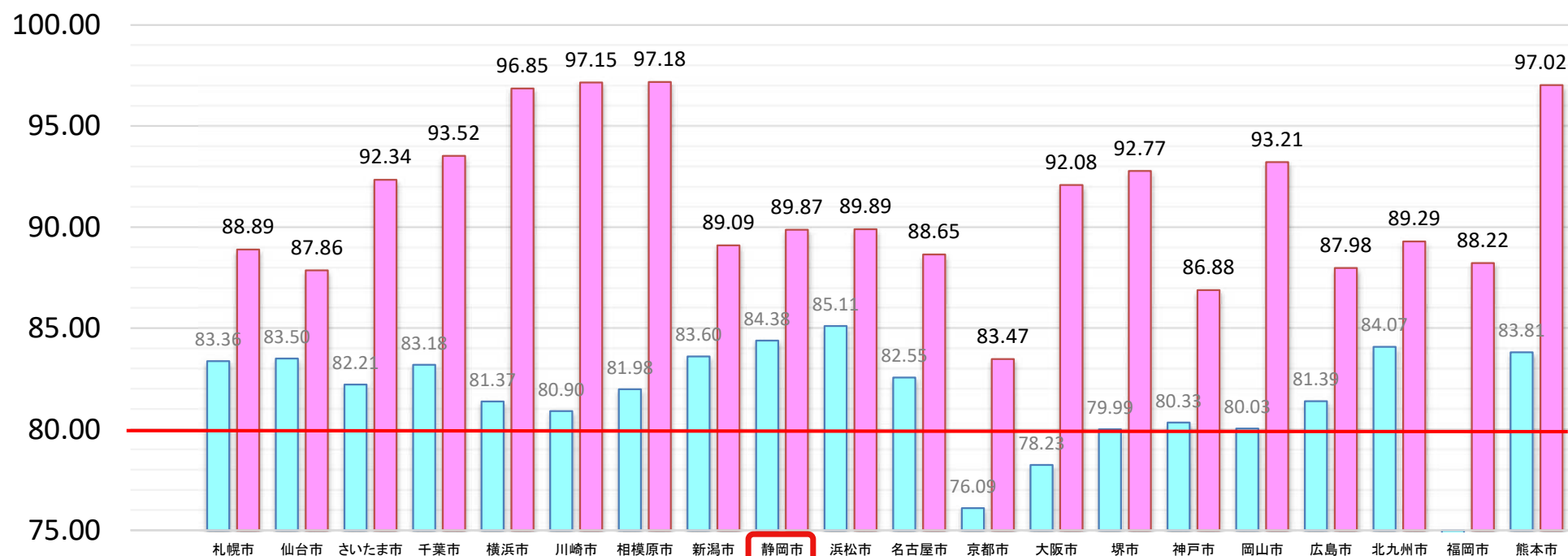
(参考1) 政令指定都市の後発医薬品の使用割合

政令指定都市中、第11位

令和6年10月から先発医薬品を希望する患者の自己負担額に特別料金が加算されることになり、各政令指定都市の後発医薬品の使用割合が急激に上昇した。

(単位: %)

令和6年度 令和7年度



政令市	札幌市	仙台市	さいたま市	千葉市	横浜市	川崎市	相模原市	新潟市	静岡市	浜松市	名古屋市	京都市	大阪市	堺市	神戸市	岡山市	広島市	北九州市	福岡市	熊本市
令和6年度	83.36	83.50	82.21	83.18	81.37	80.90	81.98	83.60	84.38	85.11	82.55	76.09	78.23	79.99	80.33	80.03	81.39	84.07	36.02	83.81
令和7年度	88.89	87.86	92.34	93.52	96.85	97.15	97.18	89.09	89.87	89.89	88.65	83.47	92.08	92.77	86.88	93.21	87.98	89.29	88.22	97.02

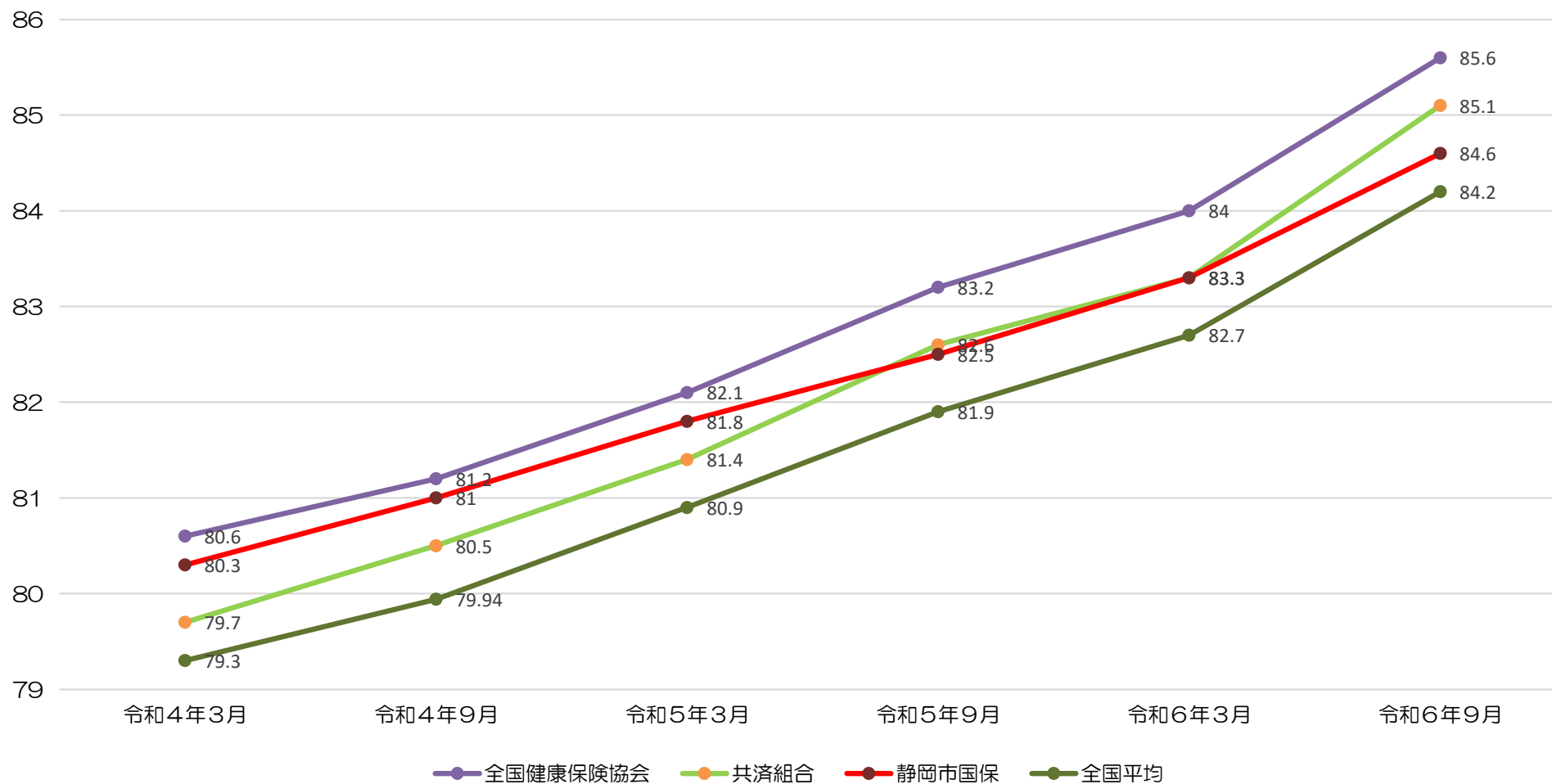
※ 令和7年度は、令和7年4月調剤分。令和6年度は、令和6年4月調剤分。

(単位: %)

(参考2) 後発医薬品の使用割合の他保険者平均との比較

後発医薬品の使用割合(数量シェア)の他保険者平均との比較

(単位：%)



※ 使用割合＝後発医薬品の数量 ÷ (代替可能先発医薬品の数量＋後発医薬品の数量)